

令和5年度 小平市立小平第五小学校 学校評価報告書

学校教育目標 すすんで学び 元気で 思いやりのある子

目指す学校像(ビジョン)

- 【目指す学校像】 地域と連携し、地域とともに歩む学校(家庭・地域と協力関係を築き、互いに貢献し合う関係を目指す)
- 【目指す児童・生徒像】 何事にも本気で取り組む 子ども (子ども自らが知識を身に付け、すすんで学習に取り組む)
- 【目指す教員像】 「教えるプロ」としての自信をもち、使命感をもって教育に取り組む教師 (分かる授業 考える授業 ともにつくる授業)

前年度までの学校経営上の成果と課題

成果:定期的なOJTを実施し、若手教員の授業力向上への取組が充実した。自分から挨拶をする児童が増えた。行事や会議の精選を進めることができた。
 課題:全学級で必達目標を明確にし、基礎・基本の定着を確実に進める。残業時間を減らすようにさらに働き方改革を進める。

	具体的方策	第1回評価		成果・課題・対策	第2回評価		学校関係者評価	成果・課題・次年度以降の対策
		取組指標	成果指標		取組指標	成果指標		
学力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察日等を設定して教員同士が授業を見合う機会をもつ。 ・学習者用端末等を日常的に活用し、どの児童も自分の考えを論理的に分かりやすく伝えられるように指導する。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭は自分の授業公開を積極的に周知するなど互いに授業力を向上しようとする気運が高まってきた。 ・3年生以上は学習者用端末を活用した授業を毎日展開できている。学習者用端末を活用して自分の考えを伝えていく学習形態を精選したい。 	4	4	<ul style="list-style-type: none"> ・「親子読書」の取組は、同じ本について親子で話合うきっかけとなったり、親子で読書をする時間が設けられたりして良い取組だと思う。 ・授業参観をすると、低学年もしっかり学習に向かっている姿が見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭以上は個々の専門性や授業テクニックを若手教員等に伝えるOJT研修を会議のない日を活用して行った。若手以外の教員も意欲的に参加していた。 ・学習者用端末について、後半になると1年生も学習ドリルを活用できるようになった。道徳や国語等の意見交換の場面など、2年生以上は積極的に活用できた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・学年毎に学びの「必達目標」を設定する。 ・復習プリントや学習者用端末のドリル等を授業や補習で継続的に取り組む。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・各教科の必達目標を意識した授業を日々行っている。 ・個別の基礎的・基本的な学力の定着を図るために、休み時間や放課後を活用している。 	4	3		
健全育成	<ul style="list-style-type: none"> ・学期に1回のあいさつ運動を実施し、重点的に取り組む。 ・毎朝、教室や昇降口で児童を迎え、教職員から笑顔であいさつをする。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら挨拶する児童は増えているが、教職員側からの挨拶に返す児童も多い。あいさつ運動の振り返りを生かしていく。 ・昇降口では専科教員が必ず立って児童を迎えている。学級担任は8時10分に教室で児童を迎えることは十分でないため、個別に促していく。 	4	3	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体では、すすんで挨拶できる児童は増えている。外部の方からも褒めていただく機会が多い。引き続き、児童主体・教員主体の両面からの取組を行っていく。 ・毎日児童を教室で迎えている学級担任は6割程度である。個人差があるため、年度初めに意識向上を図る。 	
	<ul style="list-style-type: none"> ・いじめ対策委員会を定期的に行い、状況把握と組織的な対応を進める。 ・教職員一人一人がいじめを許さない態度で指導する。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「学校いじめ防止基本方針」について、4月の保護者会で周知した。生活指導上の問題に対しては担任・学年・副担任・生活指導主任・管理職が連携し、組織対応をしている。 ・いじめ研修でいじめ重大事態等の対応について行った。 	4	4		<ul style="list-style-type: none"> ・高学年は教科担任制を導入したことから高学年生活指導部会と全体のいじめ防止対策委員会を月に1回は必ず実施した。事案が発生したら、その都度会を開き、常に組織対応を行ってきた。 ・教員主体のいじめ防止研修は引き続き確実に実施し、いじめ防止への意識を高め続ける。
体力向上	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上についての運動例を作成し、全校で実施する。 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・運動委員会が遊びや運動の動画紹介を行い、外遊びを促すようにしている。 	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・「朝トレ」を一緒に見守っているが、周りで見ているだけの子どもも多い。その子達をどんどん巻き込んでいければ良い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体力テストの結果から、本校児童の体力低下について対策を考えた。2学期から「朝トレ」を週2回実施し、児童への意識向上を促した。
業務改善 働き方改	<ul style="list-style-type: none"> ・週当たりの在校時間60時間を超えないようにする。 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めは事務的作業が多く、全体的に在校時間を超過してしまう傾向にあった。 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・教員の業務改善は言葉だけではできないので、国・都も本気で取り組んでほしい。 ・先生方が倒れないように支援できることやりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学期末等、業務が増えてしまう時期は授業時数を削減することで時間を確保してきた。 ・個人の仕事量により、遅くなる教員と定時で帰る教員との差があるため、個々の仕事量の見直しをしたい。
	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の精査や学校行事の精選、ライフワークバランスなどについて、自己申告書に具体的な目標を示して取り組む。 	3	2	<ul style="list-style-type: none"> ・個々のライフワークバランスを自己申告書に明記し、管理職が確認した。 	3	3		